

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 愛川舜寿会	代表者	理事長 馬場 拓也	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・共生、寛容、自律の法人理念を大切にし、地域の人びとと、ケアを起点としたコミュニティを再構築し「社会をやさしくする」を目指します。 ・「介護する」「介護される」の関係でなく、ご本人ができること、できる可能性があることに目を向け、持っている能力を活かし、自分らしさを再発見できるよう支援していきます。 ・認知症グループホーム、放課後等デイサービス、就労支援事業による洗濯代行とコインランドリー営業、コロッケスタンドや清掃など、福祉と地域の人たちの距離を近づける福祉拠点で今の自分に何ができるのかを一緒に考え、地域での暮らしの中で自分の役割や生きがいとなる居場所を見つけ、その人らしい生き方を支えていきます。
事業所名	KCC ショータキ	管理者	小澤 妙子		
運営推進会議での評価 実施日		令和 8年 1月 27日			

出席者	市区町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	人	1人	1人	人	3人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員の確認ミスによるヒヤリハットが多い事から行動を移す前に再確認と周囲の職員の声を掛け合うよう努める。	再確認と職員同士の声掛けを行うよう周知し取り組んできたが、確認不足や思い込みにより十分に実践されない場面があり、職員の確認ミスによるヒヤリハットの発生を防ぐことができなかった。	取り組み状況にばらつきが大きい点が気になる。 ⇒ 職種によって行っている項目があるため、取り組み状況に幅があるのが現状。	職員の確認ミスによるヒヤリハットが減らなかった事から利用者対応や送迎、移動介助等の行動を行う前には、思い込みで判断せず、対象者・内容・状況を再確認してから行動することを職員間で再度周知し徹底する。 不安な点や判断に迷う場合には、一人で判断せず周囲の職員へ声を掛け、ダブルチェックを行う体制を意識づける。
B. 事業所のしつらえ・環境	特になし。		気を使わず、自由に出入りする事ができる雰囲気が良い。 飽きの来ない事業所だと思う。 タイプの違う小規模多機能が六倉にもあるが、静かでゆっくりした環境。ここは地域に開放されており賑やかさが特色であるのでそれぞれ特徴を活かし継続してもらいたい。	特になし。

C. 事業所と地域のかかわり	利用者様の病気によって現実と非現実の区別がつかない心理状況の方との会話となる場合は職員が間に入ってケアしていくと共に GH とショータキの職員で情報共有し改善につなげていく。	今年度はそのような状況になる事は無かったが、グループホームとショータキ職員において朝礼やケアコラボの申し送り機能等で情報共有している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段関わりがないから分からない部分が多い。 ・ 公園やお店や資料館等に行くことも地域との関わりになっている。 	特になし。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	特になし。		利用される曜日によってイベント参加出来ないこともあるが、地域のイベントを広報誌や運営推進会議などで情報を得て参加できている。	特になし。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地区や行政のイベントの予定など運営推進会議で情報共有する時間を設ける。	運営推進会議開催時に自治体、包括、愛川町からのイベント情報共有により、いろいろなイベントに参加できている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報の取り扱いが厳しい事から会議の場で話すのは難しい現状。恥ずかしい事は隠したいと思うのが一般的で本人から了承を得るのはなかなかハードルが高い。 ・ 事例検討まではいかず、情報共有と見守り程度がやっとである。町からの広報誌等で[困りごと相談]の知らせは出来たとしても、こちら側から「困った事ない？」と声をかければ人によって「大きなお世話だ」と跳ね返される。もっと身近に相談しやすい場所、身近に感じてもらえる場所づくりが必要。 	地域住民にもっと KCC ショータキを知ってもらうために定期的にイベントを開催し、参加してもらう事でより身近に感じてもらい、お困り事などを伺える関係作りをしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	足りない備品を早急に揃え、有事の際に備える。	足りない備品の補充はできており、定期的に BCP 対策委員会開催している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ BCP 計画を立てている。 ・ ショータキはあくまでも在宅のため、基本は自宅に引き渡す。 ・ 家族用のものがあると良い。 	BCP 対策委員会を定期的に開催継続していく。